

蓬萊県営住宅

12/9

来年も息災に過ごせるよう集会所でもちつきを行いました。役員さんたちが「前回おいしく食べてもらったので、またおもちを食べさせたかった」と段取りをしたそうです。つゆを作ったり、各戸用に丸もちを作ったり、おしゃべりしながら作業を進める集会所はいい雰囲気。「もっとたくさん集まると良かったね」と来られなかった人を気遣いながら、つき立ても味わいました。

テーブルにはアツアツのつゆもちとあんこもち



皆で食べるあったかいもち。一人で食べるのとは違うよ。まいう～だね

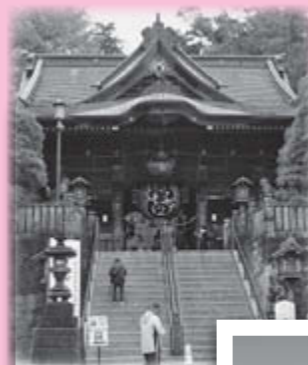


原田敏子さん
(上飯樋)

北信方部自治会

11/15~16

千葉県・東京都方面への研修旅行。「富津ソーラー発電所」では太陽光発電について理解を深めました。同発電所は約44万㎡という広大な敷地で一般家庭1万1,500世帯分の発電を行い、二酸化炭素の削減効果は年間1万7,000tが見込まれるそうです。その他、成田山新勝寺や、東京湾アクアラインのパーキングエリア「海ほたる」、スカイツリーなどの名所も訪れ、会員の親交も深めました。



(右)「海ほたる」から見る快晴の東京湾
(左)成田山新勝寺
(右)富津ソーラー発電所にて



飯野町団地

12/12

皆さんが家族のように温かく迎え入れてくれました。この経験を活かしていきたいです

畑野佳代さん
(村の栄養士)



主婦の皆さんから、村の栄養士・畑野佳代さんに、地元・大分の料理を教してほしいとリクエスト。集会所でプライベートな料理教室が開かれました。メニューは「やせうま」「だんご汁」「とりめし」「とり天」といった郷土食です。畑野さんは中米ホンジュラスでJICA（国際協力機構）職員として活動後、村へ来て1年。次は石川県輪島市に移住して仕事を続けます。村では最終となる温かな交流のひとつでした。

交流を楽しみながら大分の郷土食を学びました



つながるアルバム

伊達東応急仮設住宅

11/26

伊達東地区交流館で踊りの練習に励む女性の皆さん。交通事故ゼロを呼びかける伊達地区の「復興チャリティ大会」で、歌手・高橋樺子さんの歌に合わせて踊りを披露するためです。息を合わせて踊れるよう、曲をかけながらの練習が続きました。2日後の本番は、そろいのTシャツを着て「伊達市ふるさと会館」のステージへ。地域の皆さんと共にカラオケ大会に出場した人もあったそうです。

個人練習にも励んだ成果



仲間と一緒に楽しく練習



関根・松塚行政区

12/13

10月から建て替え工事が進められていた関根・松塚行政区集会所の上棟式が行われ、それぞれの避難先から地区の皆さん約80人が集まりました。上棟式では紅白もちや投げ銭がまかれ、場内はにぎやかな雰囲気に包まれました。高橋文男区長は「震災前のように、住民が集まって盆踊りなどができる場所になれば」と願いを込めてあいさつ。春には新しい集会所が完成する予定です。

役員らが準備した紅白のもちで投げもちです



避難先から集まった皆の顔を見られて良かった。新しい集会所のできるのが楽しみです



庄司礼子さん
(関根・松塚)

相馬大野台応急仮設住宅

12/3

現地で被災を学ぶ高校生と語り合いました



心情を聞き涙を浮かべる子りの皆さん



今年も多くの視察・支援の皆さんが訪れてくださった中で、訪問に応じて住民が被災地の現状を伝えています。12月3日には熊本県立宇土高校の修学旅行生25人、同9日には南米チリから、災害時の心のケアについて制度作りを進める保健省などの視察団15人が来訪。庄司勝自治会長（前田）、佐藤襄二前自治会長（大倉）らが、これまでの経緯や現在の課題、心境などを語りました。